

漫画雑誌と掲載作品の絵の関係性

Relationship between comic magazines and the pictures in their publications

Abstract

Although the atmosphere of the pictures in comic books differs depending on the artist, we feel that there is a similar atmosphere among the works published in the same comic magazine. In this study, we will objectively compare whether there is actually a similar atmosphere and, if so, what is similar about them. First of all, we will select a total of 15 comic face pictures, 5 from each of the 3 girl's comic magazines (Ribbon, Bessatsu Margaret, and Margaret) that are or were published. We will then measure the pictures and find the ratios using previous research. Finally, the values will be statistically processed to see if a significant difference can be found. As a result of our experiments, we found that there was no significant difference between the values measured in this study, and therefore, there was no relationship between the differences in atmosphere of the magazines.

1. はじめに

絵は様々な雰囲気のものがある。例えばかっこいい絵だったり、かわいい絵, 芸術性を感じられる絵だったり 100 人いれば 100 種類の絵が描かれるだろう。そんな中少女漫画雑誌に掲載されている漫画の絵は雑誌ごとに似たような雰囲気があるように感じた。そこで、実際に雑誌によって絵の雰囲気は変わるのかを客観的に比較したいと思いこの研究を始めた。

2. 仮説

顔のバランスを調べたときに同じ雑誌内では値にまとまりがあり、他の雑誌との有意差が客観的に認められる。

3. 研究方法

仮説を示すために次のように研究を進める。

(1) 少女漫画雑誌 3 つ(りぼん・別冊マーガレット・マーガット)に掲載されている作品の中からそれぞれ 5 作品ずつ選び、合計 15 作品の漫画顔の絵を、乱数を用いてランダムに選ぶ。

今回選んだ漫画は

〈りぼん〉

- ・吸血鬼と薔薇少女
- ・初婚
- ・ハニーレモンソーダ
- ・6月のラブレター
- ・群青リフレクション

〈別冊マーガレット〉

- ・思い、思われ、ふり、ふられ
- ・テリトリーMの住人
- ・ひなたのブルー
- ・恋を知らない僕たちは
- ・君がトクベツ

〈マーガレット〉

- ・ショートケーキケーキ
- ・ひるなかの流星
- ・僕に花のメランコリー
- ・ふたりで恋をする理由
- ・みにあまる彼氏

である。

(2) その絵を印刷して、先行研究([1])を参考にして顔の様々な場所の長さをものさしで計測し、計測した値から顔のパーツを調べる13項目の顔のバランスを求める。(図1)

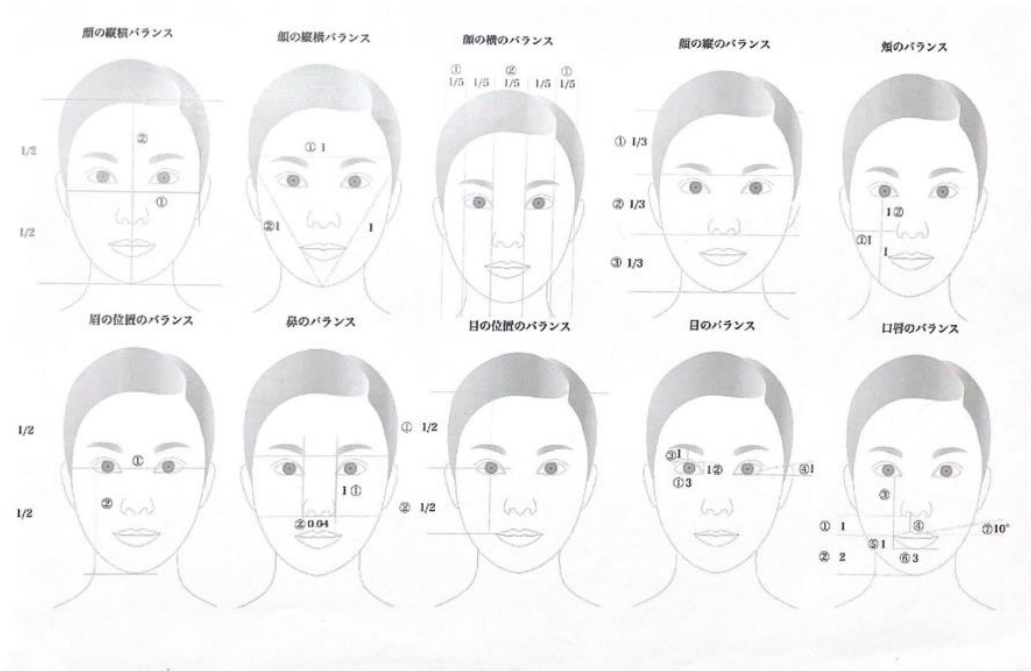


図1 顔のバランス比率

(3) 出した値を表1のように項目ごとに並び替え、Excelの機能を用いて一元配置分散分析を行う。この時P値が求められるが、そのP値が0.05より小さければ有意差が認められる。

表1 眉の位置のバランス(一元配置分散分析前準備)

眉の位置のバランス					
りぼん	0.72	0.8	1.09	1.09	0.7
別冊マーガレット	0.845	0.81	0.68	1	0.95
マーガレット	0.9	1	1.37	0.89	1

※一元配置分散分析…一種類のデータ(今回は雑誌の違い)の影響による水準間の平均値の差(今回はりぼん、別冊マーガレット、マーガレットのそれぞれ選んだ5作品の調べる項目の平均値)を解析する際に用いる手法。Excelで行うと図2のように結果が表示される。

分散分析: 一元配置						
概要						
グループ	標本数	合計	平均	分散		
りぼん	5	4.4	0.88	0.03815		
別冊マーガレット	5	4.285	0.857	0.015695		
マーガレット	5	5.16	1.032	0.03847		
分散分析表						
変動要因	変動	自由度	分散	F値	P-値	F境界値
グループ間	0.09043	2	0.045215	1.469371	0.26866	3.885294
グループ内	0.36926	12	0.030772			
合計	0.45969	14				

図2 眉の位置のバランス(一元配置分散分析結果)

(4) (3)の結果をもとに何故そのような結果になったのかを考察する。

4. 実験結果

方法(2)の結果は表2のようになった。

表2 漫画作品と比の値

調べる項目	基準とするもの	比率を出すもの	りぼん					別冊マーガレット					マーガレット				
			吸血鬼と	初婚	ハニーレ	6月のラ	群青リフ	思い思わ	テリトリ	ひなたの	恋を知ら	君がトク	ショート	ひるなか	僕に花の	ふたりで	みにあま
顔の縦横のバランス①	顔の横幅	顔の縦の長さ	-	2	-	1.71	-	1.716	1.79	1.91	1.45	1.56	1.53	1.49	1.87	1.88	1.68
顔の縦横のバランス②	左右の眉山をつなぐ顔の横の長さ	眉山からあご先までの長さ	1.14	-	1	1	1	1.357	0.9	0.82	0.98	1	0.87	1.07	1	0.96	1.13
顔の横のバランス	生え際から目尻までの長さ	目の横幅	0.29	0.5	3	2	0.9	0.843	5.91	1.22	1	4.43	1.16	1.29	2.75	0.7	1.6
		目と目の間の長さ	0.21	0.8	3	3	1	0.666	4.83	1.28	2	4.79	1.5	1.57	2.5	0.88	2.2
顔の縦のバランス	生え際から眉頭下部までの長さ	眉頭下部から小鼻下までの長さ	-	0.708	1.2	0.5	-	0.581	0.43	0.64	1.12	1.1	0.89	1.56	0.78	0.31	1.24
		小鼻下からあご先までの長さ	-	0.24	0.9	0.5	-	0.407	0.4	0.65	1.06	0.58	1.06	0.88	0.47	0.4	1
頬のバランス	小鼻の横から輪郭までの長さ	黒目の真下から輪郭までの長さ	-	0.87	1	1	0.77	0.645	1.1	0.89	1	0.92	1.25	1.8	0.75	1	0.94
鼻のバランス	眉頭の下から小鼻下までの長さ	小鼻の横幅	-	-	0.13	0.02	0.02	0.154	0.21	-	-	-	0.19	-	-	-	-
眉の位置のバランス	顔の横の幅	眉山からあご先までの長さ	0.72	0.8	1.09	1.09	0.7	0.845	0.81	0.68	1	0.95	0.9	1	1.37	0.89	1
目の位置のバランス	生え際から瞳の中心までの長さ	瞳の中心から口角までの長さ	-	0.7	1.4	0.35	-	-	0.68	0.28	0.85	0.37	0.59	0.71	0.41	0.38	1
目のバランス①	目の横幅	目の縦の長さ	0.862	1	1	1	1.1	0.843	0.64	1.04	1.14	0.83	1.4	0.67	1	0.63	0.96
目のバランス②	目の縦の長さ	まぶたの縦の長さ	0.6	-	0.2	1	0.4	0.789	0.45	0.61	0.29	1	0.2	0.75	0.6	0.32	1.14
口唇のバランス	小鼻下から口角までの長さ	口角からあごまでの長さ	-	2.5	1	1	1.17	1.087	1.21	1.67	1.1	1.23	1.67	1.75	1.17	1.5	1.83

方法(3)の結果、表3すべての項目でP値が0.05を大きく上回った。

(表のP値の値は小数第3桁までを表示している。)

表3 各項目におけるP値

調べる項目	P値
顔の縦横のバランス①	0.531
顔の縦横のバランス②	0.951
顔の横のバランス	0.365
	0.424
顔の縦のバランス	0.751
	0.590
頬のバランス	0.330
鼻のバランス	0.371
眉の位置のバランス	0.269
目の位置のバランス	0.584
目のバランス①	0.791
目のバランス②	0.940
口唇のバランス	0.519

5. 考察

表3にあるようにP値が0.05を大きく上回ってしまったので、今回の結果からは雑誌内で感じる似たような雰囲気と計測した顔のバランスは関係があるとは言えず、仮説を証明するには至らなかった。

このような結果になった理由としては、選んだ雑誌が全て集英社の雑誌だったこと、また顔の絵を使用するキャラクターの年齢が違くと顔が幼く描かれていたり大人っぽく描かれていたりしてしまうのではないかと考えすべて高校生のキャラクターの絵を選んでしまったことで違う雑誌の作品でも絵が似てしまったからではないかと考えた。

6. 今後の課題

似たような絵の雑誌を選んでしまったことが課題なので、はっきりと違いがわかる少年漫画雑誌を使うことを検討したい。そして、有意差が見られたら雑誌の読者層などの情報を含めて考察していきたい。

また、計測に時間がかかってしまい、結果が出るまでに多くの時間がかかってしまったため計測する方法も見直すべきであると感じた。

今回調べたのは顔のバランスだけだったが、例えば、色の塗り方や顔の向き、表情など多くの項目を調べて雑誌の特徴を見つけていきたい。

7. 参考文献

[1] 九島紀子・齋藤勇, 顔パーツ配置の差異による顔印象の検討, 立正大学心理学研究年報, 2015, 35-52

[2] 統計WEB. 29-1 分散分析とは 29-2, 3, 4 一元配置分散分析の流れ 29-5 一元配置分散分析—エクセル統計. <https://bellcurve.jp/statistics/course10012.html>